

神戸学院大学 中期行動計画 実行計画(第4層) 2014年度達成度評価表 分野:研究

		評価	理由
中期計画	1 研究環境の整備と充実		
実行計画	(1) 研究の質と資金の効率配分に意を払いながら、研究設備・施設の充実を図る。	C	全体的に学部・研究科は受け身であり、積極的に取り組んでいない。部署と学部・研究科の連携強化を図り、大学全体として方針を定める必要がある。
	(2) 研究費の適正使用を遵守する体制をより強化する。	C	学部・研究科での取り組みが進んでおらず、2013年度と状況はあまり変わっていない。
	(3) 研究所設置に向けた制度的検討を行う。	C	研究所設置に向けた制度的検討はほとんど進行をしないまま、計画が終了してしまっている。イニシアティブが取れておらず、学部・研究科はほとんど実行をしていない。
	(4) 知的財産の創出の強化を図るとともに、その適切な管理を遂行する。	B	教員の研究成果の公表は計画どおり進んでおり評価できる。主管となる部署も知的財産の創出の強化を図るために積極的に活動している。ただ、DB検索サービスなどのウェブサービスに関してはあまり計画が進んでいない。
中期計画	2 多様な外部資金の獲得		
実行計画	(1) 科学研究費の申請数および獲得数の増加を目指す。	C	大学としての方針が定まっていない。申請数が増加したことは評価できるが、2013年度からあまり大きな動きはなく、学部・研究科によって意識にばらつきがみられる。
	(2) 受託研究・共同研究・研究奨学寄附金の獲得、増加を目指す。	C	迅速に学部・研究科へ研究助成情報が提供できている点は評価できる。ただ、情報提供にとどまっており、受託研究・共同研究・研究奨学寄附金の獲得、増加にはつながっていない。
	(3) 外部資金獲得に向けた支援体制を強化する。	B	学部・研究科において外部資金情報提供や申請書の書き方についての支援体制を整えている点は評価できる。ただ、企業とのコンタクトが不十分であり、改善が望まれる。
中期計画	3 学内・学外との研究連携促進		
実行計画	(1) 学部・研究科間の研究連携推進を図る。	B	医療系3学部での研究連携の歩みは評価できるが、機器・備品の共同利用のためのシステムの運用については、検討も行われていない等、研究連携の推進があまりできていない。
	(2) 神戸医療産業都市構想等へ積極的に参画する。	B	2013年度に引き続き、医療系3学部、研究科では着実に連携を行っており評価できるが、他学部・研究科での連携は未着手であるため、全学的に取り込めていない。
	(3) 企業、経営者団体、自治体等との産学官連携事業をより促進するとともに、共同研究の推進を図る。	B	学部・研究科によって取り組み状況が異なり、計画を立て実施している学部・研究科は評価できるが、2013年度から具体的な取り組みが見られない学部・研究科もあり、大学からの支援が必要である。

評価 S: 目標よりはるかに上回る、A: 目標をやや上回る、B: おおむね目標どおり、C: 目標をやや下回る、D: 目標をかなり下回る